



## 色彩館に咲く

### ミヤマシキミ

*Skimmia japonica*

ミカン科ミヤマシキミ属  
原産地：日本



## ギュッと集まった花が愛らしい

ミヤマシキミは日本原産のミカン科の植物です。学名では「スキミア ヤポニカ (*Skimmia japonica*)」といい、照り葉の常緑低木で雄株と雌株に分かれた雌雄異株です。有毒植物であり、以前は果実を殺虫剤に用いられていたこともあります。変種としてツルシキミ (*Skimmia repens*) という種があります。ミヤマシキミと同じく照り葉の常緑の葉を持ち、50cm ほどの草丈で日陰にも耐えるので、グラウンドカバーとしても使われます。ちなみに「シキミ (*Illicium anisatum*)」という植物も存在し、こちらはモクレン科の低木でミヤマシキミとは全く別の植物です。抹香の原料や仏花などに使われる他、真言宗の開祖である空海が密教の修行にも使っていたとされ、仏事に深い関わりがあります。シキミも有毒植物で、特に果実は食用すると死に至る恐れがあるほどの強力な毒性を持っています。その毒性から「悪しき実」とされ、それが変化して「シキミ」と呼ばれるようになったという説があります。

一方ミヤマシキミは、シキミと葉の形が良く似ていることや有毒植物という共通点が多いことから、

シキミに良く似た山に生える植物という所から由来しています。葉や花には香りがあり、これは葉の裏に油点を持っているためです。油点とは香りのある精油分が詰まったカプセルのようなもので、葉を揉んでみると油点につまった精油成分が揮発し、ミカンのような爽やかな良い香りがします。この花の一つ一つはとても小さく、約5mmの白い花が房状に密集して咲きます。蕾の時は濃いピンク色をしており、花後には雌株に赤色の実を着けます。蕾・花・実と観賞期間が長く、切り花としても重宝されます。ヨーロッパにも渡り長年品種改良されたミヤマシキミの中には、葉の色が銅葉のものや白い実のなる品種の他、スズランのような香りを持つ品種が作られ、ヨーロッパ各国でも親しまれています。

色彩館には、園芸品種である「ミヤマシキミルビネッタ (*Skimmia japonica* 'Rubinetta')

」が植栽されています。蕾や花が可愛らしいのはもちろん、花茎が名前の通りルビーのような鮮やかな赤色をしています。現在、つぶつぶの可愛らしい蕾が徐々に開花し始めていますよ。



12月にもなれば岩見沢では少しずつ雪が積もり、バラも休眠に入ります。休眠に至る条件は明確ではありませんが、約4度前後くらいで活動を停止します。品種により適正温度は変わりますが、基本的には18~25度前後がバラの適温になり、またバラは30度前後の高温期にも生育を停止します。生育を停止するのはバラが生命の危険を感じたときであり、気温に合わせて生き残るための手段です。生育を停止するからといってもそれは地上部の枝だけであり、根は活動を続けます。休眠に入ったからといって冬は安全というわけではなく、寒風にあたるのが一番凍害に遭う危険性が高いので、北国など雪の多いところでは早く雪に埋まってくれることが肝心になります。雪が積もれば除雪の面ではあまり降ってほしくないですが、バラにとって早く雪が積もってくれることを願わんばかりです。

色彩館大温室 イルミネーション装飾

Atrium Illumination

11/27sun ~ 12/11sun

15:30 ~ 17:00

スタッフてづくり ローズヒップのクリスマスリースも販売しています！

ぜひあそびにきてください！



しもやけの話



じんじん。

お庭の冬囲いはもうお済みでしょうか。日に日に寒くなるこの季節は外で作業をしていると手足の末端がとても冷えます。それを放って作業をしていると、血行が悪くなりしもやけを起こす事があります。

これを急いで温めようとするのは危険です。急速に温度が上がることで血流が一気によくなり、神経が刺激を受け、あのしもやけ特有のジンジンとした痒みや痛みを起こすからです。

防寒・防水をしっかりとし、外から戻った際には優しくマッサージをしてゆっくりと冷えた所を温め、しもやけを予防しましょう。 MIZ

よし  
なし  
ごと

# ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹  
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト：藤川志朗  
(イラストレーター)

## 第三十三回

ハイブリッドルゴサローズ

### シュネーコッペ

Schneekoppe

作出国：ドイツ

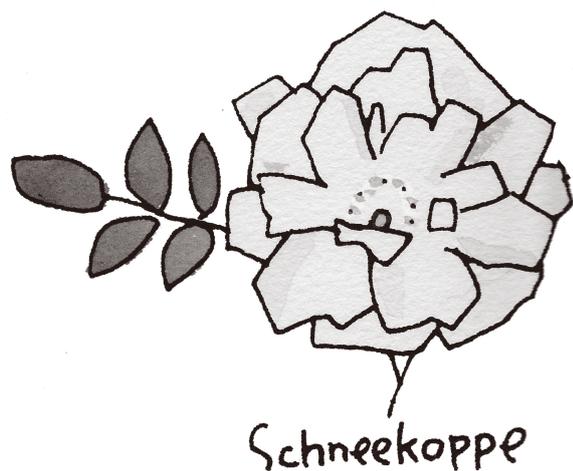
作出者：Karl Baum

作出年：1984年

ハーディネスゾーン：Z3

繰り返し咲き性

交配：Unknown



透き通るような淡い紫色でピンク色を含んだ八重咲きの何とも美しい花です。かなり白に近い花色の場合もありますが、蕾の時点ではラベンダーピンク色で花が開くにつれて徐々に淡い色へと変化していきます。特に芳香に関しては抜群に良く、爽やかでフルーティな香りが楽しめます。ハマナシの血を引き継いでいるので寒さにはもちろん強く強健であり、また繰り返し咲く性質も持っているため、花柄を摘まずにローズヒップを見たり、花柄を摘んで花をもう一度見て楽しむこともできます。

この品種のシュネーコッペとはドイツとポーランドの国境近くにあるスニエシュカ山に因んでつけられた名前といわれていて、シュネーコッペは直訳すると雪の頂上という意味になります。また、「スノーペイヴメント」という別名もあり、これは直訳すると雪の舗道になります。別名ですら雪というキーワードが入ってくるくらいなので、耐寒性が優れているということが想像できますよね。この品種は、すべてハ

イブリッドルゴサローズで形成されたペイブメントシリーズといわれている品種の一つであり、舗道脇などに向けたバラとして作られました。この品種の血筋、ハマナシとはそもそも海岸の砂地に多く自生しているもので、塩害に強い性質を持ちます。ヨーロッパの雪の降る地域では融雪剤として道路に塩を撒くため、街路に植える植物は塩害に強いものでなくては栽培できないので、そういった理由でハマナシよりも多彩な色、香り、樹形のコンパクトさなどの点から選抜されたのがこの品種というわけです。

園内でも栽培しているこの品種ですが、定評通りの強健さと花の可愛らしさ、爽やかな香りと良いところ尽くしの品種です。園内のロータリー周辺に20株前後栽培されていて、あまりじっくりと見られる場所ではありませんが、来年は車で来園される方は横目でちらっとでも見て頂けると幸いです。じっくりと見たいと思う方も是非当園に足を運んでこの品種を見にいらして下さい。



冬期間も営業中～！

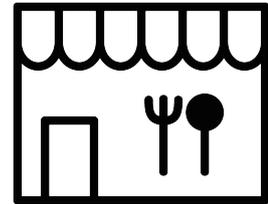
バラ園内にありますレストラン『PIZZERIA L u c c i』は冬期も営業中です。

営業は土日祝日のみで、営業時間は 11:30～15:00(ラストオーダー 14:30) で営業しております。

お問合せ  0126-31-6655

または 札幌本店へ  050-5798-2196

ピッツェリア ルッチ  
PIZZERIA Lucci



## 12月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！  
!



- 12月10日(土) 13:00~15:00 体験してみよう！樹木の香り  
料金：無料 定員：40名  
講師：脇田 陽一さん 道立総合研究機構 林業試験場 研究主幹
- 12月25日(日) 13:00~15:00 お正月のアレンジメント  
料金：2,500円 定員：40名  
講師：伊藤 とみ子さん 中央フラワー協会
- 1月15日(日) 13:00~15:00 折りバラを楽しもう 上級  
料金：300円 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 1月29日(日) 13:00~15:00 多肉植物の寄せ植えをしよう  
料金：1,000円～(容器代別途) 定員：10名  
講師：バラ園スタッフ&フラワーマスター